黄菊都路花

一九文賦

國芳画圖

三鐵壽梓

Yo Gôkan:(No. 085)
Kogane Giku.
Book 1--3.

へ13
3781

黄菊花
初編上
都路
十返舍一九作
一勇齋國芳画
初編下

門 ハ13
號 3781
卷

まつぎく
菊
たまゐ
みや
こ
路ぢ

弘化五申春新版

東海道五十三次

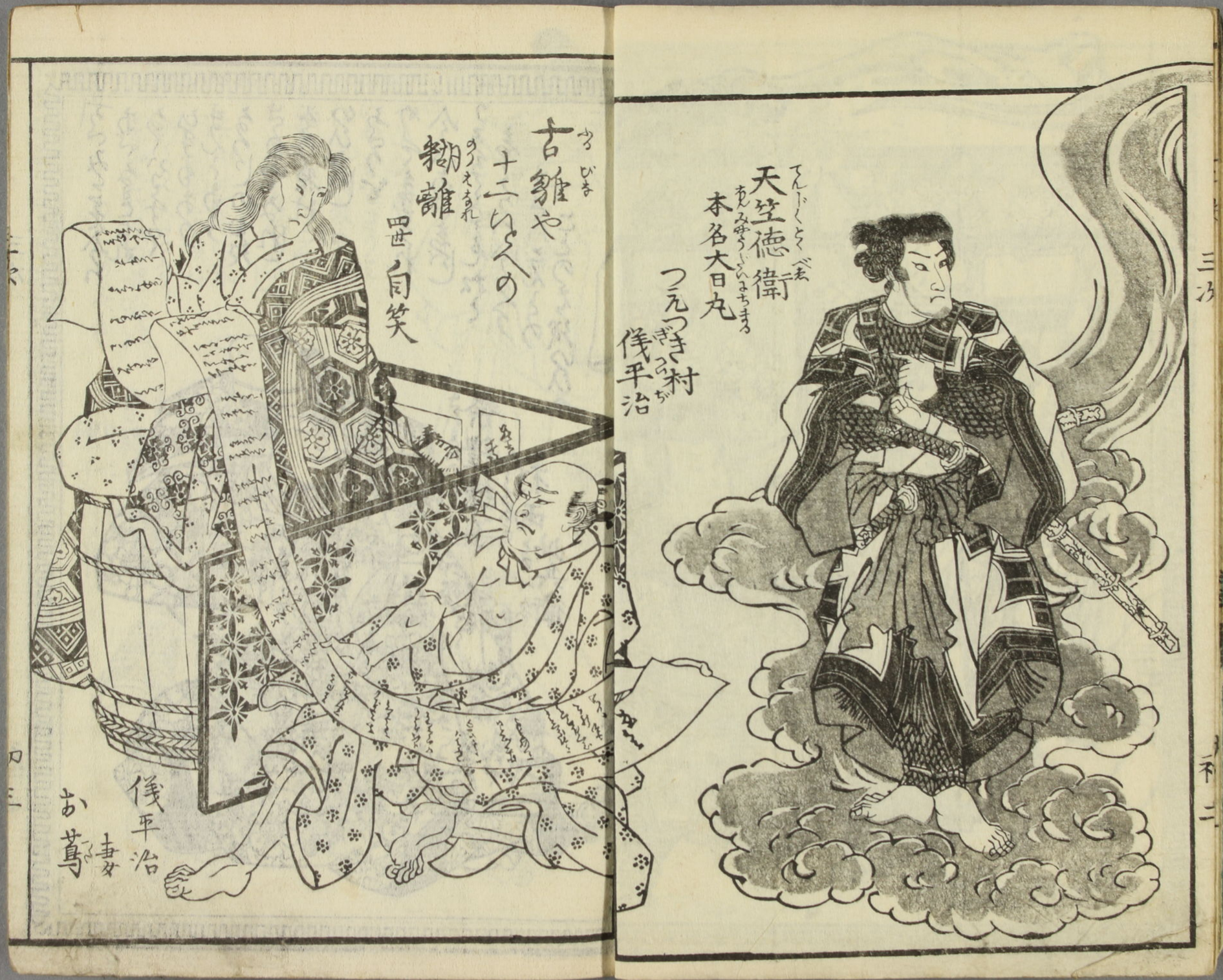
三鉄

黄菊花都路初編自序

齊魯夾谷の會は。優倡侏儒戲をなすく
ものなり。そ遺文は梵は孟子孫叔敖のまゝなる。
春は優孟あるのみ。見聞者めゝて記ものは。史
記ものは正史の書抜とるべし。加之唐は散
樂教十種技を以て奏覧せ。その中は戲
優あり。元は百曲あり。そまとよろ勾欄盛なる。
就中評判は西廂記と李笠翁の十種曲の
両座なり。蓋皇國の狂言は木の頭きりみ
は當時天照大御神。石窟への大どろぼく日
蓋を下せ六合内黒暗のうげとなる。ぐんまれ

氣をつく。鈿命ハ初很ゑ。磐戸神楽の所作
支ハ古事記日本書紀古語拾遺三座とも
ゑ皆見せさう。そ且ゑう後世の歌舞妓ゑ
春一番の梅の花秋打半の菊の花星稜ゑ
てゐうのろハで盛り旬ハ黄菊。根本のようハ
根びくゆ。ゑ。ゑゑゑゑ折ゑ人の花の都路景
大坂へゆ御平リ記し言ケとゑゆゑ。ハ文舎のゆろゑ
頼れ操舵の飛色のゆとゑ。ゑゑゑゑ且とゑんゑゑ

十返舎一九記


天竺徳衛
本名大日丸
つえつき村
伐平治
古雅や
十二ひとへの
物離
世自笑
伐平治
お葛妻

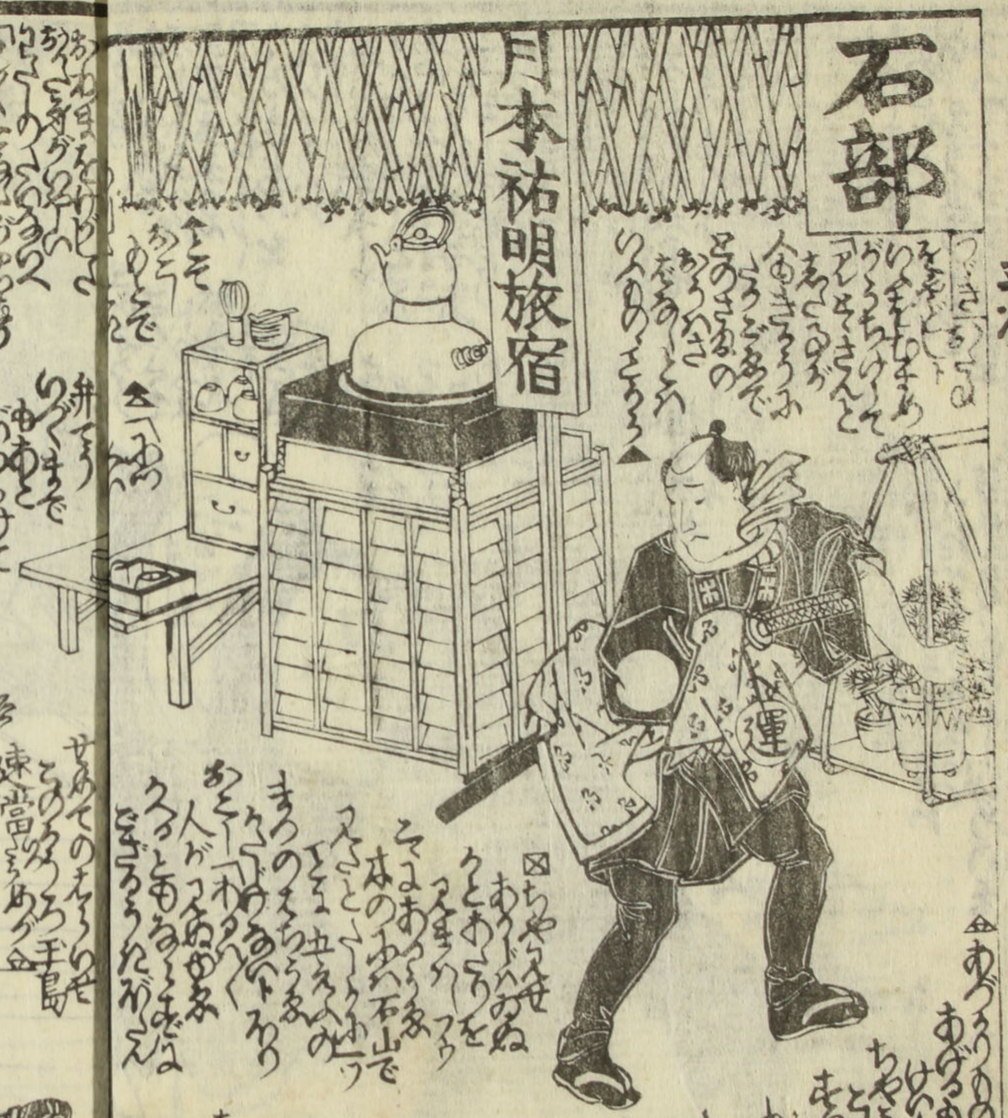
「さみこそ今ハ
あざるまとれ
あくバ子ま
ひまもあり
きんこまあり
ろくしの中
さ夜やるれ
その夜れ
いひろし
ふろうを
めて五ろれ
今ハあざ
ろろろこもれと
ろろろろ今ろろ
きふうろの
ととのそ夜いひ
祭禮練子
村雨此兵衛
ひるや
いや世をさりて
松風村雨も
油のみぬまて
ようやる」下畧
文宝永七年印本
松の風村雨の唄の
初よこえろろ
ときこそ松風の唱ふれ
ゆとろべき
祭禮
練子
行平
薄雲

大津

草津

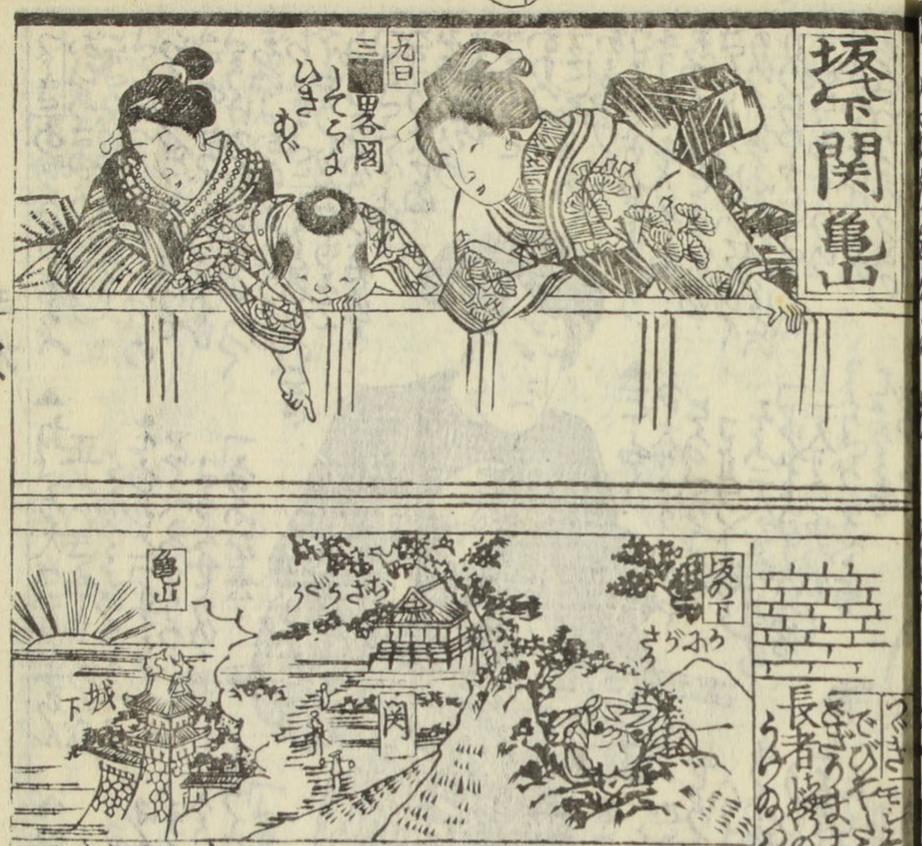
石部

月本祐明旅宿



水口

十返舎一九文賦

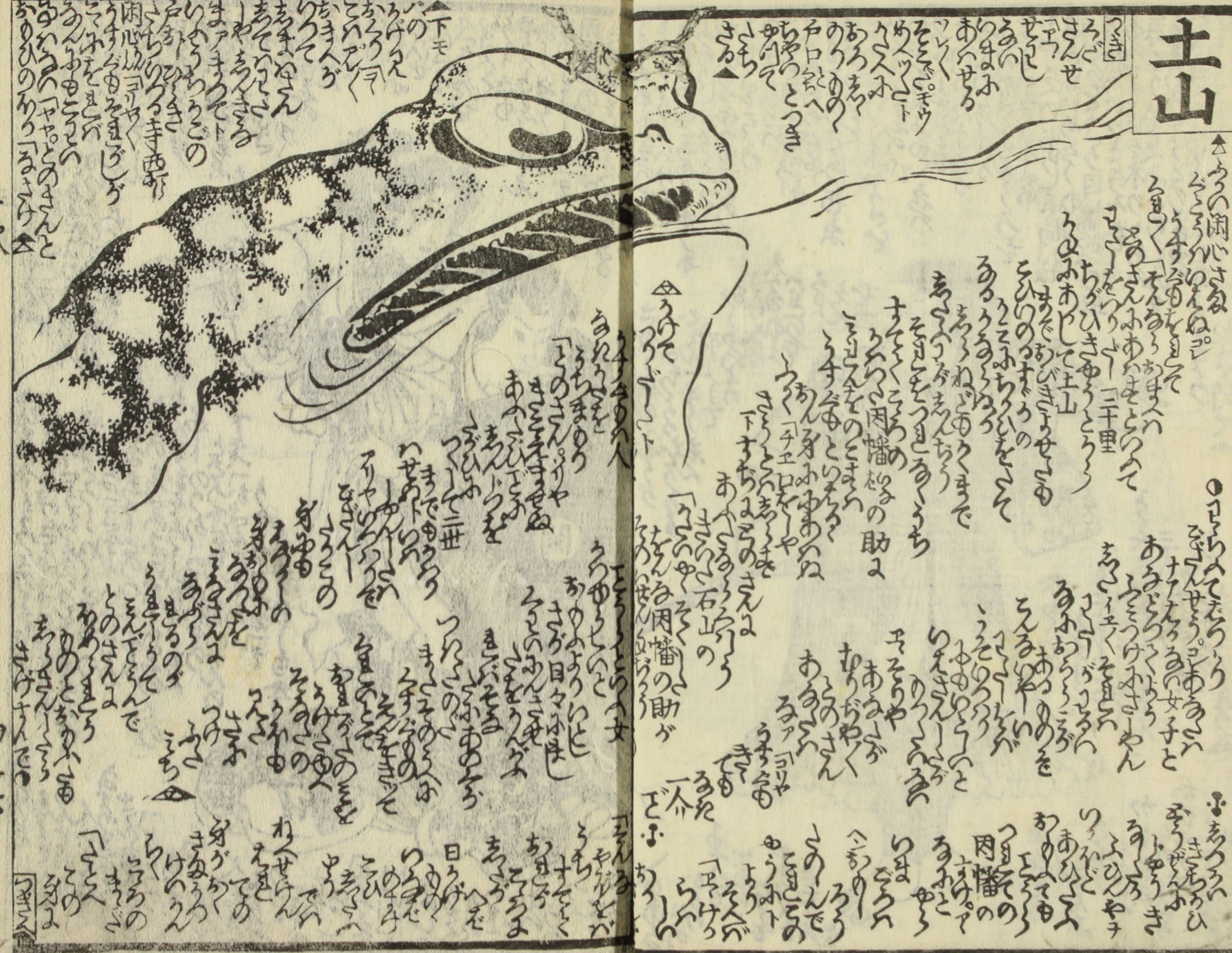


朝櫻樓國芳画

駄
徳

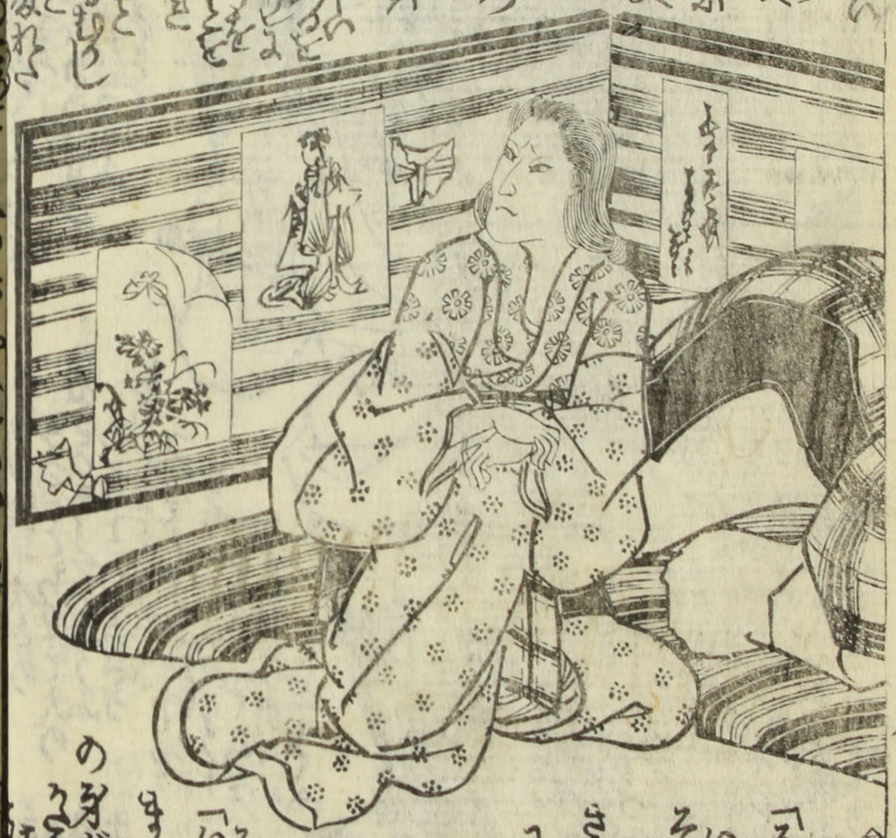
長谷部
桃の
雄竜
難竜
石山寺
日本
駄洒
残

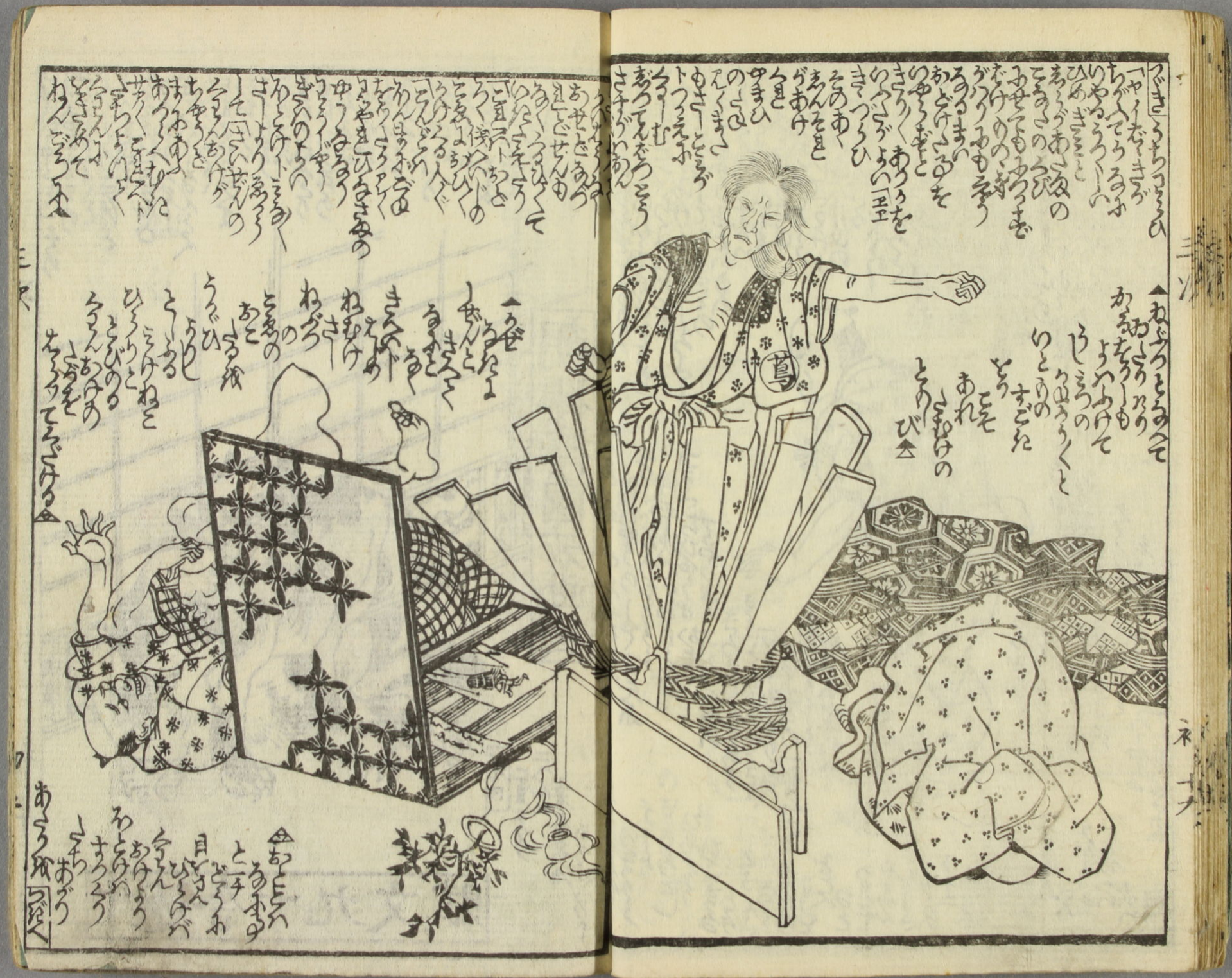
土山



薄
閑
絵所
亜仕

庄野





黄菊花飛鳥二編

一九文賦
國芳画圖

一九日

朝櫻樓國芳画圖

十返舍一九文賦

二編上

黄菊花

十返舍一九文賦

朝櫻樓國芳畫圖

二編下

出の稿　九

求久賦

二編下

国井画

池鯉鮒の宿の休憩所

大田南畝

岡崎　女郎元と云ふ小唄を昔聞ゴロ聞ひけう唄のあらを得ざるとなり。東海道名所図會に矢別の里東北山の麓に岡崎女郎元と名称する妓婦の塚あるはしるべ。たまたま不詳なのいはしに池鯉鮒岡崎の間わづか八橋村の事なれば記しあれば。

京都より大井川まで初編二編藤枝より日本橋まで三編四編　三鉄板

黄菊花都路

初日四冊　後日四冊　合八拾張

天地万物の逆旅なり。光陰は百代の過客なり。花鳥の戯れ月にうそぶく。春秋のうつりかはり雁を送り燕を迎ふる。月日のゆくひかずまろ旅をとどめて名所を知らぬ歌人あらんや。居ながらにして五十三次をうつぬ佳人あらんや。梅に秀なる菊の芳しきを愛でざるべし。今やその駿路のさまを図にあらはす。

膝栗毛のうづきもわまくべと。同屋の先觸に驚きて。壁に尻馬に乗りけれども助人の夫役もなし。原来獨旅の物とぞ。されば宿銭の不足がち。支足らぬ張数の限ある道中なれば。我侭に逗留のみちくさもくへぬ早便の急作。皆様其気でいらしじろ

弘化五申春新版　應需　十返舎一九記

道具屋
甲幹清七
杵屋
於仲

一文舎
座頭
徳市

来名

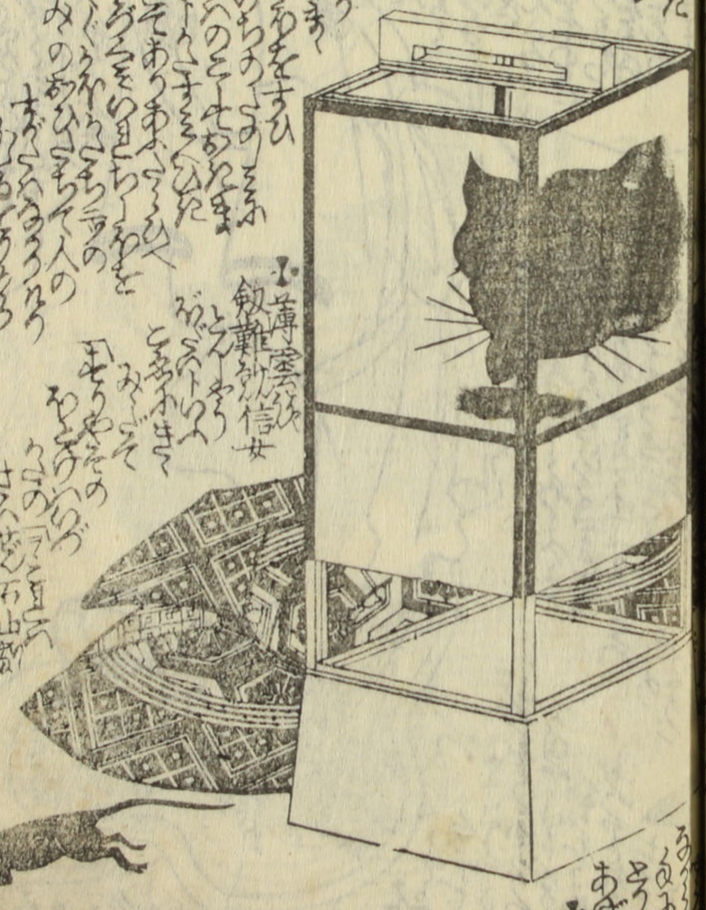
四日市 ナント

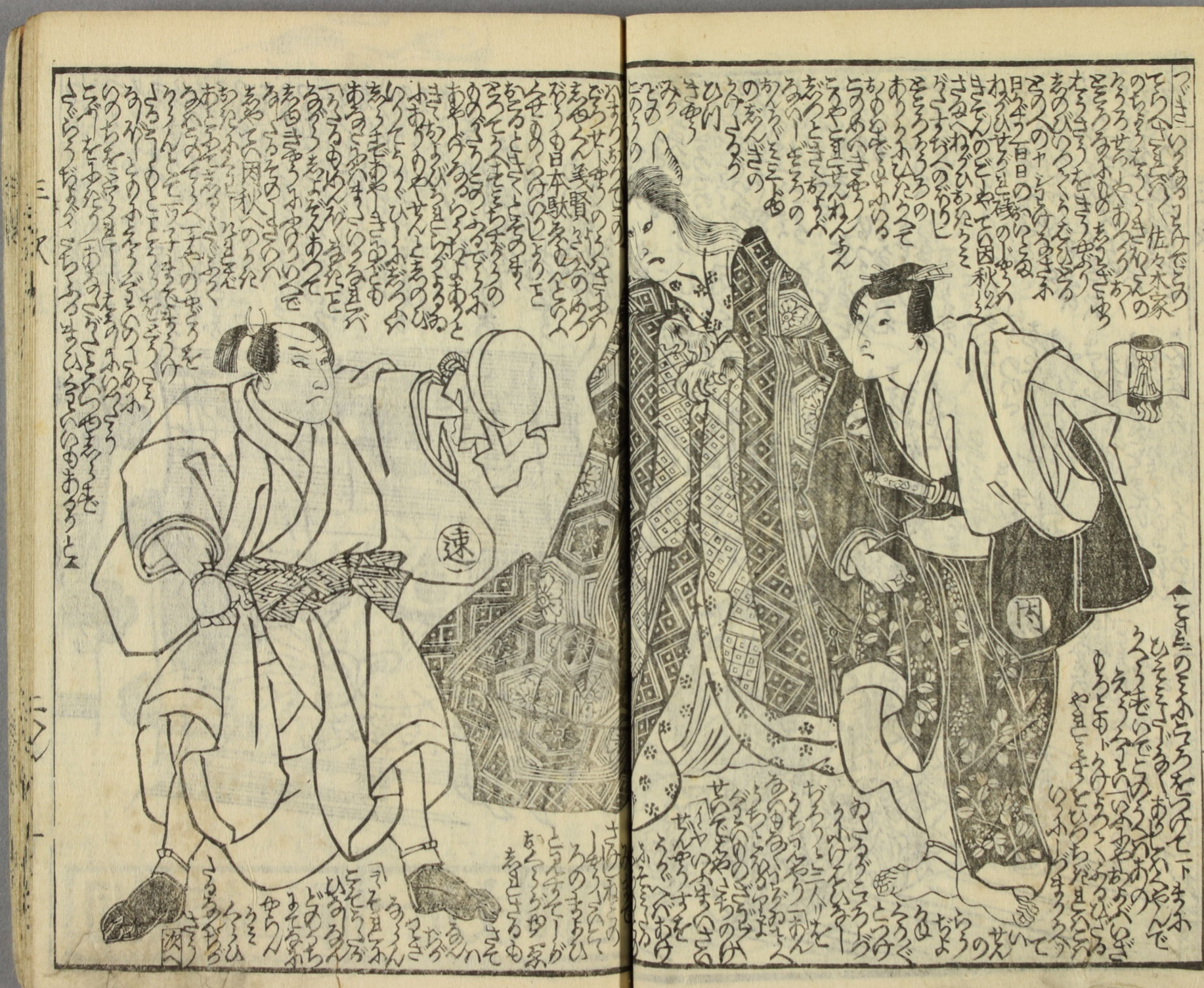
日永楽村

徳

池鯉鮒

岡崎




肉
速

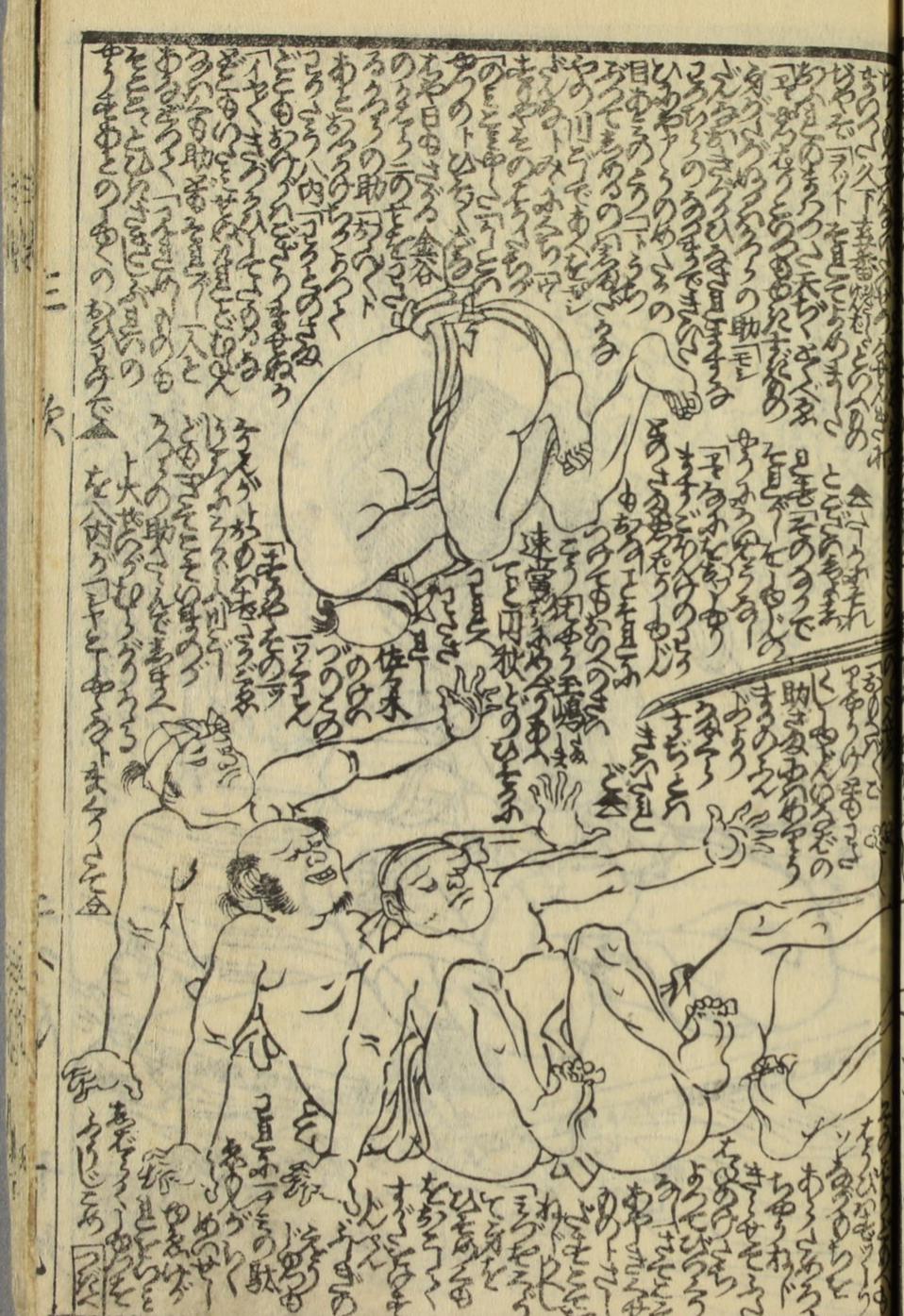
舞坂見附
濱松
巻下
新井
白須賀
日坂
二川
高師山
上の茶屋
紙草紙
並水 榮小

袋井

掛川

つゞき

日坂



金谷

嶋田
十返舎一九文賦
朝櫻樓國芳画

黄菊
抱都路
三蒲
渓小壽梓

黄菊花都路
三鉄梓

一勇齋國芳画
三編上

上の巻

三編下

藤枝

白井権八ハ本庄助太夫が主家滅亡を祈大願を祭り非法を行ふ所我

隠ふ忍て助太夫を討直ふ城中を出て刀の行を尋ねと東海道を指て下向ス八重梅ハ白井が身を案じて田中の辺ふ来る

岡部
白柄
重
右エ門

白井氏八足を休めんと駕を乗りしよ途中にて駕舁の相對よ余人と乗替らを包を残して左右よ別く過ぎる
蹴つまろ
夢の蟲
玄魚
白井
権八

府中 二丁まち

園
當
因

つゞき [illegible]

[illegible] 白井ごん八 [illegible]

[illegible] アウト [illegible]

[illegible]

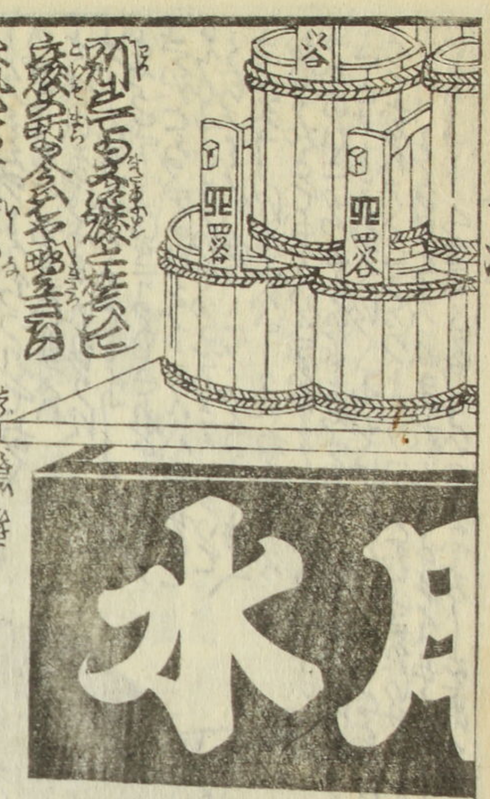
[illegible]

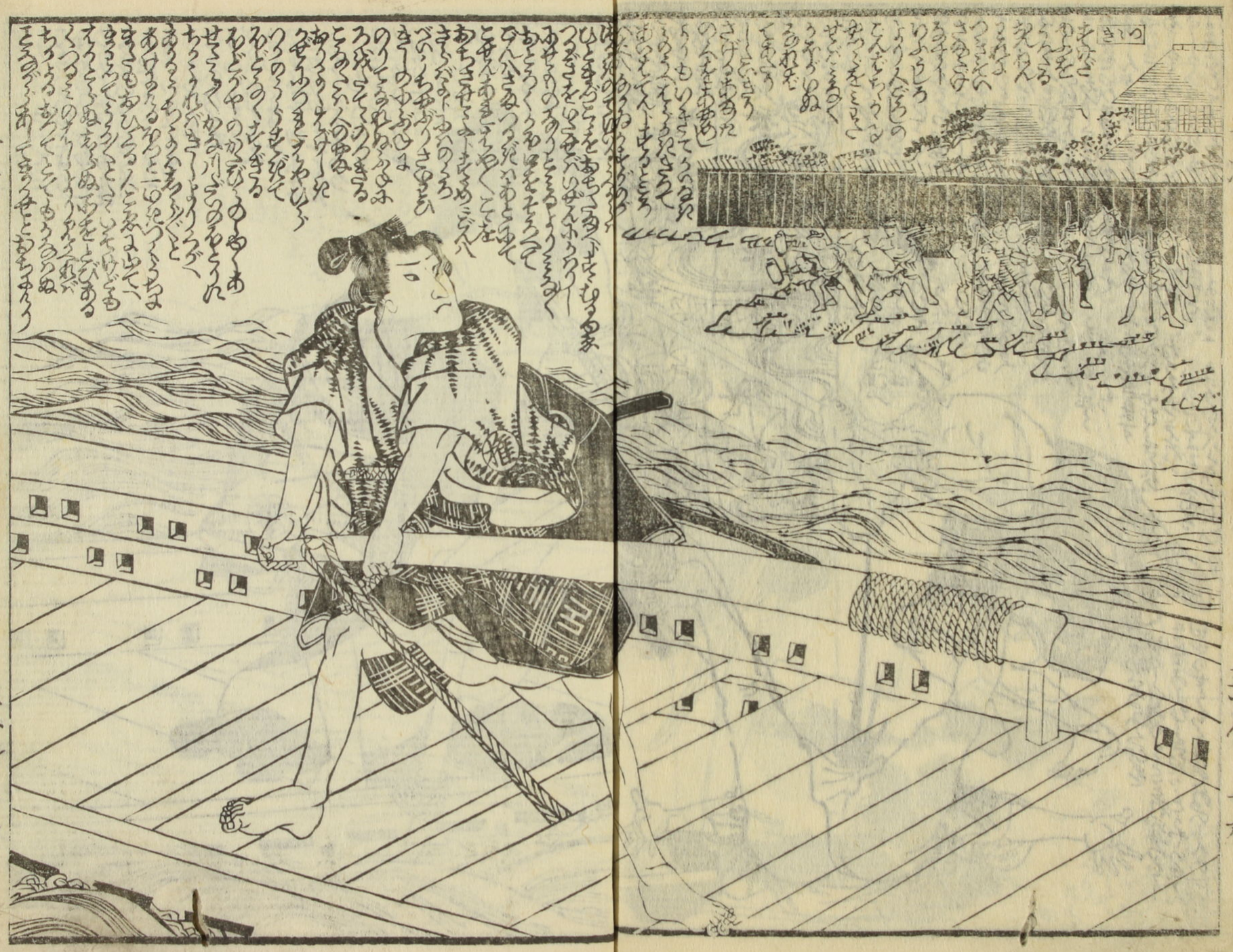
つゞき

並木古瓶図

一勇齋國芳画

大磯あそび物語



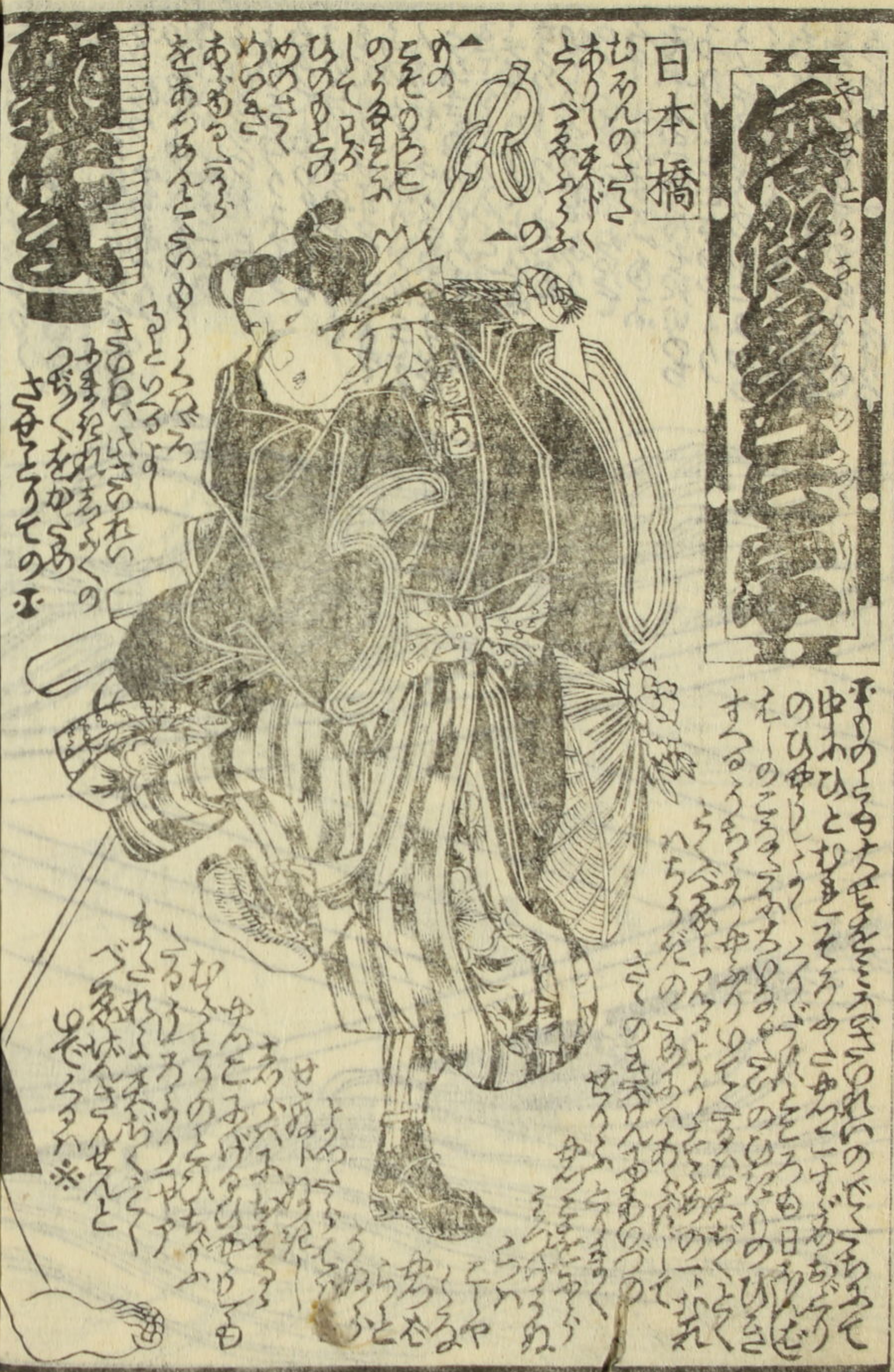


川崎

[illegible]

俗説弁慶記

日本橋



東海道

並木古瓶

一勇齋國芳画

あづまぢの
東路へ下る
さゝさく
くぐつぬの
ちりくの
あるさかの
赤壁
人生稀なるとも
中の春

中錦小倉百人一首　一陽齋豊國画
一勇齋國芳画

同　忠臣藏鉛々傳　一筆菴作
一勇齋國芳画

日本武者年代記　前王蘭齋作
後歌川貞秀画

東海道五十三次　初編　十返舍一九作
一勇齋國芳画

同二編　三編四編　大尾　十返舍一九作
一勇齋國芳画

弘化五申春　元大工町　三河屋鉄五郎版